

# 一般財団法人 福岡コンベンションセンター

## 所管事務調査説明資料

### 目 次

		ページ
<b>第 1 章</b>	<b>一般財団法人福岡コンベンションセンターの概要</b>	
1	名称、設立年月日、所在地	1
2	設 立 目 的	1
3	事 業 内 容	1
4	管 理 施 設 の 概 要	1
5	基 本 財 産	2
6	運 用 基 金	2
7	組 織 及 び 役 職 員 数	3
8	役 員 及 び 評 議 員 名 簿	4
<b>第 2 章</b>	<b>令和 3 年度 決算 状況</b>	
1	事 業 報 告	5
2	貸 借 対 照 表	1 2
3	正味財産増減計算書	1 5
4	財務諸表に対する注記	2 1
5	附 属 明 細 書	2 2
6	財 産 目 録	2 3
7	収 支 計 算 書	2 5
8	契約金額が 3 億円以上の工事又は製造の請負の契約	2 5
9	契約金額が 4,000 万円以上の不動産等の買入れ等の契約	2 5
<b>第 3 章</b>	<b>令和 4 年度 事業 計画</b>	
1	事 業 計 画	2 6
2	収 支 予 算 書	3 0

令和4年7月 22 日

経 済 観 光 文 化 局

# 第1章 一般財団法人福岡コンベンションセンターの概要

## 1 名称、設立年月日、所在地

- (1) 名称 一般財団法人 福岡コンベンションセンター
- (2) 設立年月日 昭和54年10月1日
- |             |                      |
|-------------|----------------------|
| ※昭和54年10月1日 | 財団法人福岡国際センター設立       |
| 昭和56年10月15日 | 福岡国際センター開館           |
| 平成6年4月1日    | 財団法人福岡総合展示場と改称       |
| 平成7年8月24日   | マリンメッセ福岡A館開館         |
| 平成15年3月3日   | 福岡国際会議場開館            |
| 平成15年4月1日   | 財団法人福岡コンベンションセンターと改称 |
| 平成18年4月1日   | 第1期指定管理者として施設運営      |
| 平成21年4月1日   | 第2期指定管理者として施設運営      |
| 平成25年4月1日   | 一般財団法人へ移行            |
| 平成26年4月1日   | 第3期指定管理者として施設運営      |
| 平成31年4月1日   | 第4期指定管理者として施設運営      |
- (指定管理対象施設：福岡国際会議場及びマリンメッセ福岡A館)
- 令和3年4月1日 マリンメッセ福岡B館開館  
(指定管理対象施設にマリンメッセ福岡B館が追加)
- (3) 所在地 福岡市博多区石城町2-1 (福岡国際会議場内)

## 2 設立目的

コンベンション施設の利用促進につとめ、地域経済の活性化、学術文化の振興及び国際交流の推進を図り、もって福岡市の国際経済文化都市としての確立を目指すとともに、住民福祉の向上に寄与することを目的とする。

## 3 事業内容

- (1) 国際会議・国内会議、内外見本市、展示会並びに文化、スポーツ等各種催事の開催又は開催協力に関する事業
- (2) コンベンションに係る情報の収集、提供等に関する事業
- (3) 前各号の事業の用に供するコンベンション施設の管理及び運営に関する事業
- (4) その他目的達成に必要な事業

## 4 管理施設の概要

- (1) 福岡国際会議場〔平成15年3月 開館〕
- |      |  |
|------|--|
| 所在地  | 博多区石城町2-1  |
| 規模   | 地上5階(一部6階)   |
| 敷地面積 | 10,251平方メートル   |
| 延床面積 | 24,885平方メートル   |
| 主要施設 | メインホール、多目的ホール、国際会議室、中・小会議室、<br>・ホール機能 最大収容人数 3,000人<br>※メインホール、多目的ホールを一体利用した時の収容人数 |
| 建設費  | 約100億円   |
| 所有者  | 一般財団法人福岡コンベンションセンター<br>(福岡市へ無償貸与し、公の施設として位置付け)                                     |

(2) マリンメッセ福岡A館〔平成7年8月 開館〕

所在地 博多区沖浜町7-1

規模 地上4階、地下2階

敷地面積 28,191平方メートル

延床面積 40,631平方メートル

主要施設 多目的展示室

・展示機能 展示面積 1階 約8,000平方メートル

2階 約1,100平方メートル

・アリーナ機能 200メートルトラック及び100メートル直線確保

・ホール機能 最大収容人員 約15,000人

駐車場台数 1,360台（※エキシビジョンパークを除く。）

建設費 約297億円

所有者 福岡市

(3) マリンメッセ福岡B館〔令和3年4月 開館〕

所在地 博多区沖浜町2-1

規模 地上2階

敷地面積 17,455平方メートル

延床面積 11,430平方メートル

主要施設 多目的展示室

・展示機能 展示面積 約5,000平方メートル

・ホール機能 最大収容人員 約6,000人

建設費 約72億円

所有者 福岡市

(4) 福岡国際センター〔昭和56年10月 開館〕

所在地 博多区築港本町2-2

規模 地上3階、地下1階

敷地面積 17,094平方メートル

延床面積 14,243平方メートル

主要施設 展示ホール

・展示機能 展示面積 1階 約3,400平方メートル

2階 約1,600平方メートル

・ホール機能 最大収容人員 約10,000人

駐車場台数 165台

建設費 約38億円

所有者 一般財団法人福岡コンベンションセンター

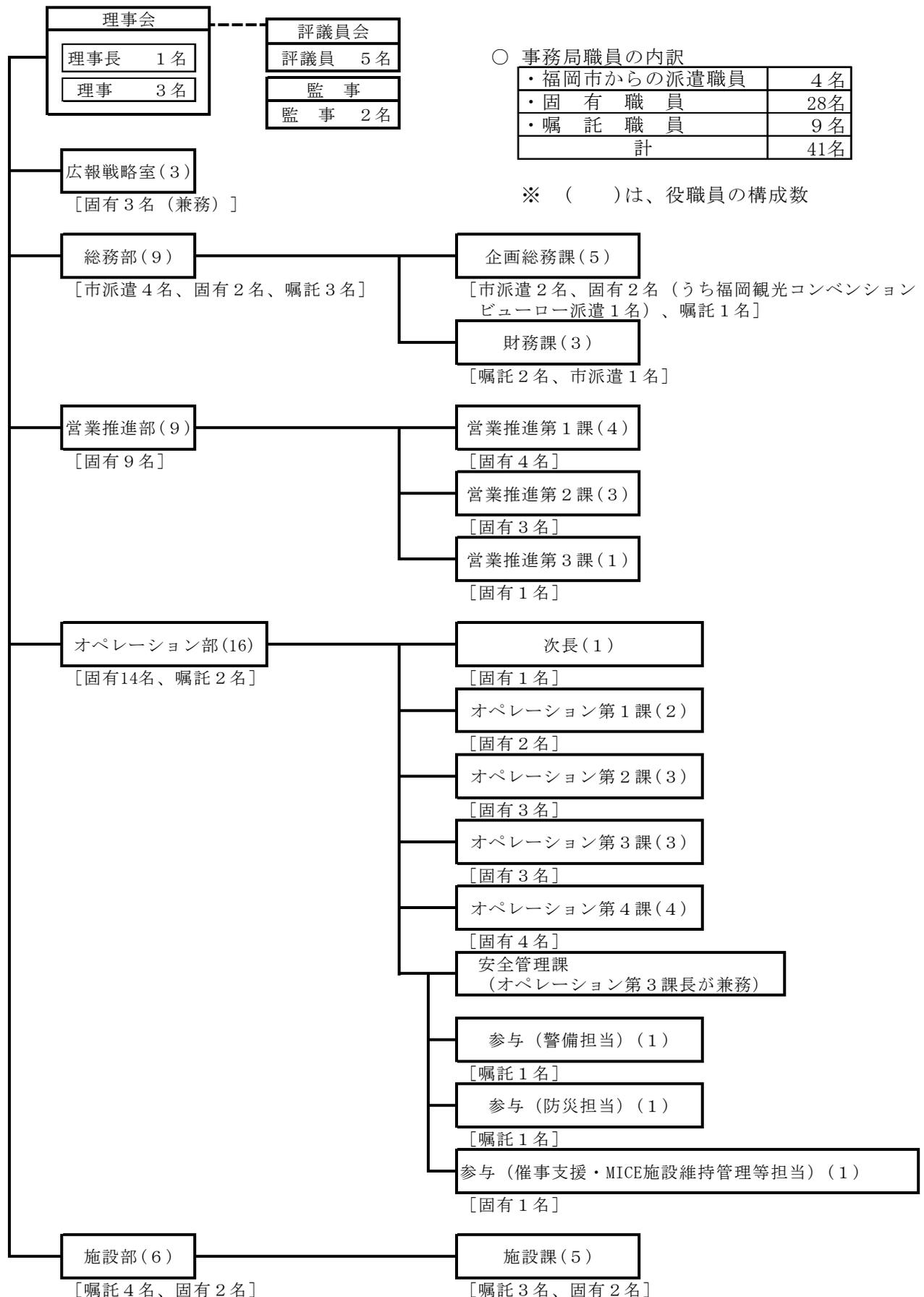
## 5 基本財産

200,000千円（福岡市185,000千円 92.5%）

## 6 運用基金（福岡国際センター設立時に設けた基金）

300,000千円（福岡市100.0%）

## 7 組織及び役職員数（令和4年7月1日現在）



※ 固有職員1名は育児休業中

## 8 役員及び評議員名簿（令和4年7月1日現在）

役職名	氏名	就任年月日	備考
理事長	小野田 勝 則	令和3年6月28日	(常勤)
理 事	天 本 俊 明	令和3年6月28日	福岡市 経済観光文化局長
理 事	内 村 芳 郎	令和3年6月28日	九州電力株式会社 常務執行役員
理 事	高 島 収	令和3年6月28日	公益財団法人福岡観光コンベン ションビューロー 専務理事
監 事	小 川 明 子	令和4年4月1日	福岡市 会計管理者
監 事	成 瀬 岳 人	令和3年6月28日	株式会社福岡銀行 常務執行役員
評 議 員	井 口 宏 樹	令和4年4月1日	福岡市 港湾空港局長
評 議 員	魚 住 俊 治	令和3年6月28日	公益財団法人福岡市スポーツ協会 副会長
評 議 員	田 代 雅 彦	令和3年6月28日	九州産業大学 地域共創学部観光学科 教授
評 議 員	堀 江 広 重	令和4年6月7日	一般社団法人九州経済連合会 常務理事
評 議 員	松 本 恭 子	令和4年7月1日	福岡商工会議所 専務理事

## 第2章 令和3年度決算状況

### 1 事業報告

#### (1) 概要

令和3年度においては、共用エリア、観客席等の抗ウイルスコーティングの施工やオゾン除菌装置の設置等により全ての会議室及び備品類等について、徹底した新型コロナウイルス感染防止対策等を実施し、当該対策を積極的にPRしながら営業活動等を行った結果、コンベンション事業収入は約17億円、入場者数は約82万人まで回復した。

MICEを取り巻く環境は依然として厳しい状況下にあるが、引き続き、MICEの需要回復、顧客満足度の向上に努め、安定的な経営基盤の強化に向けた取組みを進めるとともに、地域経済の活性化や学術文化の振興、福岡市の国際経済文化都市としての確立、福岡市民の福祉の向上に寄与していく。

#### (2) MICEの戦略的な誘致・営業

##### ① 国際会議・学術会議の誘致

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、九州大学をはじめとした県内各大学及び国内外への訪問営業の機会が激減したが、オンラインによる面談等を通じて積極的に情報収集や営業活動に努めた。その結果、「第30回日本摂食嚥下リハビリテーション学会」（令和6年8月）、「第46回日本高血圧学会総会」（令和6年10月）、「第44回医療情報学連合大会」（令和6年11月）、「APLAR 2025（アジア太平洋リウマチ会議）」（令和7年9月）等の令和4年度以降開催の国際会議・学術会議計44件の誘致に成功した。

また、福岡市及び公益財団法人福岡観光コンベンションビューローと共同運営をするMeeting Place Fukuoka（以下「MPF」という。）において、提案書の作成や首都圏・関西圏への訪問、三者営業会議や担当者間の情報共有を密にし、福岡誘致に向けての共同誘致営業を行った。

令和3年度の国際MICEエキスポ及びAIME（Asia-Pacific Incentives and Meetings Event）のオンライン開催にMPFと共同で参加し、コンベンションゾーンへの誘致が見込まれる「麻酔科系医学会」等の国際会議や「臨床腫瘍医学会」等の学術会議10件について、福岡誘致に向けた協議を進めている。

##### ② 新規・重点分野の催事の誘致・営業

新型コロナウイルス感染症の影響により、全ての分野において催事開催の自粛が続く中ではあったが、地場産業の振興への寄与が期待される福岡市のMICE戦略における重点分野（新産業／クリエイティブ産業／医療・医学／スポーツ／食／アジア）は積極的に営業活動を行った。

食分野では、初のマリンメッセ福岡A館・B館の同時利用となる「FOOD STYLE Kyushu 2021」の拡大実施に成功した。

クリエイティブ産業分野においては、令和3年11月にマリンメッセ福岡A館での初開催となった「ポケモンカードゲームチャンピオンズリーグ福岡」が、次回も同施設での開催を予定しており、施設利用の定着化に成功した。

医療・医学分野においては福岡国際会議場、マリンメッセ福岡A館・B館での同時利用となる「第47回日本分子生物学会年会」（令和6年11月）のほか38件の催事利用が決定した。

### ③ リピーターの流出防止・定着化

令和2年度に続き多くの催事が中止・延期となったが、開催を決めかねているリピーターに対し判断時期についての猶予期間を設けるとともに、令和4年度・5年度における早めの日程提示や予約が入っていない空白期間について過去開催履歴のあるリピーターに日程提示を行うなど、流出防止に努めた。

また、「第19回FINA世界水泳選手権福岡大会」が令和5年に再延期されたことにより、再延期後の期間に施設を利用できなくなったリピーターへは、財団施設内での調整及び他会場の斡旋等、きめ細かな対応を行い、今後も財団管理施設を利用していただけるよう流出防止と定着化を図る取組みを行った。

### ④ マリンメッセ福岡B館の活用

マリンメッセ福岡B館においても新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けたが、4月の開館から8月末までの約5か月間の長期にわたり「新型コロナウイルスワクチン大規模接種会場」として活用し、高齢者接種や職域接種の促進に貢献した。また、初のマリンメッセ福岡A館・B館での同時利用となる「FOOD STYLE Kyushu 2021」の拡大実施に成功した。

## (3) 運営サービスの向上

### ① 催事運営のサポート

利用者の立場に立ち、各催事の目的達成に向けて、催事内容や利用施設の特性を踏まえながら、サービスの提供を行い、顧客満足度の向上に努めた。

また、コロナ禍でさまざまな制限がある状況で、主催者が安心して催事を開催できるよう、新型コロナウイルス感染症対策に関するアドバイスを積極的に行った。中小会議室を設置する福岡国際会議場では、主催者からの要望があるハイブリット開催やオンライン会議への対応を行うなど、きめ細かな開催サポートに努めた。

さらに、多くの来場者が見込まれる大規模催事の開催においては、来場者の誘導・案内等、利用開始前から終了まで安全・安心に開催できるよう取り組んだ。

令和3年4月に供用開始したマリンメッセ福岡B館においても、これまで培ってきたノウハウを活かし、主催者が円滑な催事運営ができるよう努めた。

### ② 新型コロナウイルス感染症を踏まえた催事運営について

令和2年度に引き続き、国及び福岡県の指針に基づいた施設利用ガイドラインを随時改定するとともに、全施設の入口にサーマルカメラと自動消毒液の設置、非接触型体温計やアクリルパネルの無料貸出しを行った。

また、検温、手指消毒、マスクの着用等の徹底をお願いし、催事の内容に応じて、物理的な動線や間隔を確保したレイアウトを提案するなど、主催者・来場者に向けた感染症対策に努め、安全・安心に施設を利用できる環境を提供した。

### ③ 施設の新型コロナウイルス感染症対策について

財団施設における催事をより安全・安心に開催するため、新型コロナウイルス感染症対策として、新たに以下の取組みを実施した。

#### ア 抗ウイルスコーティングの実施

全施設のエレベーターやトイレなどの施設内共用部及び客席・控室に、5分でウイルスを不活性化させる抗菌・抗ウイルスコーティングを実施した。

#### イ オゾン除菌機の導入

福岡国際会議場全ての会議室及び全施設の備品倉庫に、ウイルスを不活性化させるオゾン除菌機を導入した。

#### ウ エスカレーター用紫外線除菌機の設置

不特定多数の方が手に触れるエスカレーターの手すりに紫外線除菌機を設置した。

#### エ 空調システムによる換気強化

全施設において常に新鮮な空気を取り入れるよう換気強化を図るとともに、福岡国際会議場については空調設備を増設した。

### (4) 施設の維持管理

経年に伴う老朽化に適切に対応して、施設の維持管理と安全性の確保を図るとともに、利用者に快適で利便性の高い施設を提供できるよう、各施設の保守管理、改修等を計画的に行った。

保守管理は、施設・機器等について専門の委託業者等による日常・定期点検の的確な履行、実施内容の確認を徹底し、予防保全に努めた。

また、改修等については、長期保全計画に基づき設備機器の更新や施設環境の改善を実施した。

### (5) 安全対策・危機管理対策

日頃から、施設設備の点検や催事の主催者等へ施設利用方法の指導を徹底するなど、安全対策に努めた。

自然災害や催事上の事故をはじめ、防火・防災その他の危機事案の発生時には、防災センターや主催者・関係者と十分な連携を図り、迅速、的確かつ組織的な対応が図れるよう訓練を実施した。

また、近年、危機事案が多様化していることを踏まえ、必要に応じて危機管理対応マニュアルなどを適宜更新するとともに、財団職員、防災センター職員に対し防災研修・訓練を定期的実施し、危機意識の向上に努めた。なお、防災管理者等の資格取得や救急救命講習などを積極的に受講するなど、職員等の防災知識・技術の向上にも努めた。

### (6) 新たな取組み

#### ① 広告事業の検討

新たな財源の確保を目的として、施設の共用スペース（ロビー、壁面等）に有料広告を掲載するため、令和3年度に事業者を選定し、令和4年度より事業を実施する。

#### ② 自主企画事業の実施

コンサートなど多くの来場者が見込まれる催事の開催日に合わせて、コンベンションゾーンにキッチンカー出店を行い、来場者の利便性向上を図るとともに、周辺の空間づくり・賑わい創出を行った。

また、福岡国際会議場のロビーに「博多旧市街灯籠」を設置し、博多旧市街への誘因を図り、地域連携の強化に努めた。

#### ③ 施設開放事業の実施

マリンメッセ福岡A館でのコンサート開催日に合わせて、マリンメッセ福岡B館のロビーを開放し、来場者向けに「博多旧市街」及び「世界水泳2022」のプロモーションブースを設置するとともにトイレを開放し、コンサート開場前におけるトイレ混雑の解消を図った。

#### ④ 駐車場等を活用した新しい催事スタイルの確立

新型コロナウイルス感染症の感染のおそれのある3密（密集・密閉・密接）の状態にならないよう、駐車場等を活用した夏祭りイベントやライブインシアターなどの屋外型イベントを実施し、新しい催事のスタイルを確立した。

## 【福岡国際会議場の利用状況等】

区 分	利用室数	利用率
多目的ホール (4室)	583室	43.5%
メインホール (1室)	146室	43.6%
国際会議室 (1室)	140室	41.8%
小 計	869室	43.2%
中・小会議室 (18室)	2,270室	37.6%
合 計 (24室)	3,139室	39.0%

(注) 利用率(小計) 43.2% (利用室数 869室/利用可能室数2,010室)

(年間利用可能室数2,010室=6室×335日:年365日-休館日等30日)

(注) 利用率(中・小会議室) 37.6% (利用室数 2,270室/利用可能室数6,030室)

(年間利用可能室数6,030室=18室×335日:年365日-休館日等30日)

(注) 利用率(合計) 39.0% (利用室数 3,139室/利用可能室数8,040室)

(年間利用可能室数8,040室=会議場全24室×335日:年365日-休館日等30日)

区 分	利用件数	入場者数
国際会議	- 件	- 人
国内学術会議	35 件	15,137 人
展 示 会	35 件	11,393 人
コンサート・興行	38 件	27,504 人
国内一般会議等	512 件	86,578 人
合 計	620 件	140,612 人

**【マリンメッセ福岡 A 館の利用状況等】**

区 分	利用件数	利用日数	入場者数	利用率
展 示 会	7 件	26 日	56,542 人	52.8%
コンサート・興行	30 件	106 日	319,659 人	
会議・集会	3 件	8 日	40,821 人	
アマチュアスポーツ	- 件	- 日	- 人	
合 計	40 件	140 日	417,022 人	

(注) 利用率 52.8%

(140 日/265 日：年 365 日－休館日等 20 日－福岡市による大規模改修工事 80 日)

**【マリンメッセ福岡 B 館の利用状況等】**

区 分	利用件数	利用日数	入場者数	利用率
展 示 会	5 件	18 日	31,461 人	38.8%
コンサート・興行	5 件	14 日	25,456 人	
会議・集会	6 件	98 日	67,883 人	
アマチュアスポーツ	- 件	- 日	- 人	
合 計	16 件	130 日	124,800 人	

(注) 利用率 38.8% (130 日/335 日：年 365 日－休館日等 30 日)

**【福岡国際センターの利用状況等】**

区 分	利用件数	利用日数	入場者数	利用率
展 示 会	17 件	55 日	54,481 人	40.5%
コンサート・興行	10 件	19 日	24,609 人	
会議・集会	12 件	18 日	13,600 人	
アマチュアスポーツ	3 件	8 日	3,670 人	
大 相 撲	1 件	36 日	42,721 人	
合 計	43 件	136 日	139,081 人	

(注) 利用率 40.5% (136 日/335 日：年 365 日－休館日等 30 日)

## (7) 理事会の開催状況

会議名	開催日	内容
令和3年度 第1回理事会	令和3年4月1日 ※決議の省略	代表理事の選定について
令和3年度 第2回理事会	令和3年6月2日 ※決議の省略	令和2年度事業報告及び決算について 公益目的支出計画実施報告書について 評議員会の開催について
令和3年度 第3回理事会	令和3年6月28日 ※決議の省略	代表理事の選定について
令和3年度 第4回理事会	令和4年3月28日	令和3年度補正予算（案）について 令和4年度事業計画（案）について 令和4年度予算（案）について
令和3年度 第5回理事会	令和4年3月30日 ※決議の省略	評議員の推薦について 監事の推薦について

## (8) 評議員会の開催状況

会議名	開催日	内容
令和3年度 定時評議員会	令和3年6月28日 ※決議の省略	令和2年度決算について 役員任期満了に伴う次期役員選任について 評議員任期満了に伴う次期評議員選任について
令和3年度 臨時評議員会	令和4年3月30日 ※決議の省略	評議員の選任について 監事の選任について

※ 上記(7)(8)の表中の「決議の省略」とは、いわゆる書面決議のことであり、定期の役員選定などについて実施しているものである。

事業計画や予算・決算などの重要事項については、会議開催により決議しているが、令和3年度第2回理事会及び令和3年度定時評議員会については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、決議の省略を行った。

## 2 貸借対照表（令和4年3月31日現在）

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金預金	715,589,657	693,610,118	21,979,539
未収金	404,880,962	138,218,601	266,662,361
前払金	7,172	8,132	△ 960
前払費用	4,244,471	3,663,951	580,520
<b>流動資産合計</b>	<b>1,124,722,262</b>	<b>835,500,802</b>	<b>289,221,460</b>
<b>2. 固定資産</b>			
(1) 基本財産			
投資有価証券	200,000,000	200,000,000	0
<b>基本財産合計</b>	<b>200,000,000</b>	<b>200,000,000</b>	<b>0</b>
(2) 特定資産			
運用基金	300,000,000	300,000,000	0
退職給付引当資産	90,663,530	95,853,785	△ 5,190,255
減価償却引当資産	530,607,927	540,853,865	△ 10,245,938
経営調整積立資産	100,000,000	0	100,000,000
修繕等積立資産	4,083,521,811	3,864,544,161	218,977,650
<b>特定資産合計</b>	<b>5,104,793,268</b>	<b>4,801,251,811</b>	<b>303,541,457</b>
(3) その他固定資産			
建物	4,787,726,409	4,967,375,801	△ 179,649,392
建物付属設備	1,004,043,279	1,096,613,028	△ 92,569,749
構築物	74,164,510	86,814,067	△ 12,649,557
車両運搬具	4	5	△ 1
機械及び装置	190,236,030	195,788,355	△ 5,552,325
器具及び備品	95,714,824	125,085,420	△ 29,370,596
リース資産	2,715,768	8,147,304	△ 5,431,536
電話加入権	0	1,500	△ 1,500
ソフトウェア	10,272,310	14,298,692	△ 4,026,382
長期前払費用	7,740,930	10,837,301	△ 3,096,371
<b>その他固定資産合計</b>	<b>6,172,614,064</b>	<b>6,504,961,473</b>	<b>△ 332,347,409</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>11,477,407,332</b>	<b>11,506,213,284</b>	<b>△ 28,805,952</b>
<b>資産合計</b>	<b>12,602,129,594</b>	<b>12,341,714,086</b>	<b>260,415,508</b>
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
未払金	367,232,786	298,980,379	68,252,407
前受金	121,093,144	74,274,514	46,818,630
預り金	0	3,190,000	△ 3,190,000
1年以内返済予定長期借入金	371,364,450	501,655,000	△ 130,290,550
<b>流動負債合計</b>	<b>859,690,380</b>	<b>878,099,893</b>	<b>△ 18,409,513</b>
<b>2. 固定負債</b>			
長期借入金	116,314,700	487,679,150	△ 371,364,450
リース債務	2,715,768	8,147,304	△ 5,431,536
退職給付引当金	90,663,530	95,853,785	△ 5,190,255
受入保証金	2,000,000	2,000,000	0
<b>固定負債合計</b>	<b>211,693,998</b>	<b>593,680,239</b>	<b>△ 381,986,241</b>
<b>負債合計</b>	<b>1,071,384,378</b>	<b>1,471,780,132</b>	<b>△ 400,395,754</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
<b>1. 指定正味財産</b>			
寄附金	500,000,000	500,000,000	0
<b>指定正味財産合計</b>	<b>500,000,000</b>	<b>500,000,000</b>	<b>0</b>
(うち基本財産への充当額)	( 200,000,000 )	( 200,000,000 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 300,000,000 )	( 300,000,000 )	( 0 )
<b>2. 一般正味財産</b>	<b>11,030,745,216</b>	<b>10,369,933,954</b>	<b>660,811,262</b>
(うち基本財産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 4,714,129,738 )	( 4,405,398,026 )	( 308,731,712 )
<b>正味財産合計</b>	<b>11,530,745,216</b>	<b>10,869,933,954</b>	<b>660,811,262</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>12,602,129,594</b>	<b>12,341,714,086</b>	<b>260,415,508</b>

【参考】貸借対照表内訳表（令和4年3月31日現在）

科目	合計	実施事業等会計		
		福岡国際会議場 (継2)	福岡国際センター (継1)	特定寄附
<b>I 資産の部</b>				
<b>1. 流動資産</b>				
現金預金	715,589,657	132,319,916	140,813,758	0
未収金	404,880,962	105,679,544	11,863,823	43,226,979
前払金	7,172	0	0	0
前払費用	4,244,471	2,040,509	1,055,862	0
<b>流動資産合計</b>	<b>1,124,722,262</b>	<b>240,039,969</b>	<b>153,733,443</b>	<b>43,226,979</b>
<b>2. 固定資産</b>				
(1) 基本財産				
投資有価証券	200,000,000	0	0	0
<b>基本財産合計</b>	<b>200,000,000</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
(2) 特定資産				
運用基金	300,000,000	0	300,000,000	0
退職給付引当資産	90,663,530	22,459,805	22,459,805	0
減価償却引当資産	530,607,927	382,173,574	95,727,085	0
経営調整積立資産	100,000,000	0	0	0
修繕等積立資産	4,083,521,811	3,106,137,130	977,384,681	0
<b>特定資産合計</b>	<b>5,104,793,268</b>	<b>3,510,770,509</b>	<b>1,395,571,571</b>	<b>0</b>
(3) その他固定資産				
建物	4,787,726,409	3,632,476,286	1,155,250,123	0
建物付属設備	1,004,043,279	773,730,260	208,949,169	0
構築物	74,164,510	52,776,500	12,464,726	0
車両運搬具	4	3	0	0
機械及び装置	190,236,030	54,284,983	133,564,747	0
器具及び備品	95,714,824	62,145,631	22,265,755	0
リース資産	2,715,768	0	0	0
ソフトウェア	10,272,310	3,507,575	3,382,367	0
長期前払費用	7,740,930	5,101,273	2,639,657	0
内部会計貸付金	0	0	0	0
<b>その他固定資産合計</b>	<b>6,172,614,064</b>	<b>4,584,022,511</b>	<b>1,538,516,544</b>	<b>0</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>11,477,407,332</b>	<b>8,094,793,020</b>	<b>2,934,088,115</b>	<b>0</b>
<b>資産合計</b>	<b>12,602,129,594</b>	<b>8,334,832,989</b>	<b>3,087,821,558</b>	<b>43,226,979</b>
<b>II 負債の部</b>				
<b>1. 流動負債</b>				
未払金	367,232,786	192,509,721	110,225,345	43,226,979
前受金	121,093,144	23,331,869	12,506,726	0
1年以内返済予定長期借入金	371,364,450	243,414,450	127,950,000	0
<b>流動負債合計</b>	<b>859,690,380</b>	<b>459,256,040</b>	<b>250,682,071</b>	<b>43,226,979</b>
<b>2. 固定負債</b>				
長期借入金	116,314,700	0	116,314,700	0
リース債務	2,715,768	0	0	0
退職給付引当金	90,663,530	22,459,805	22,459,805	0
受入保証金	2,000,000	1,000,000	0	0
内部会計借入金	0	4,916,442,697	1,151,550,000	0
<b>固定負債合計</b>	<b>211,693,998</b>	<b>4,939,902,502</b>	<b>1,290,324,505</b>	<b>0</b>
<b>負債合計</b>	<b>1,071,384,378</b>	<b>5,399,158,542</b>	<b>1,541,006,576</b>	<b>43,226,979</b>
<b>III 正味財産の部</b>				
<b>1. 指定正味財産</b>				
寄附金	500,000,000	0	300,000,000	0
<b>指定正味財産合計</b>	<b>500,000,000</b>	<b>0</b>	<b>300,000,000</b>	<b>0</b>
(うち基本財産への充当額)	( 200,000,000)	( 0)	( 0)	( 0)
(うち特定資産への充当額)	( 300,000,000)	( 0)	( 300,000,000)	( 0)
<b>2. 一般正味財産</b>	<b>11,030,745,216</b>	<b>2,935,674,447</b>	<b>1,246,814,982</b>	<b>0</b>
(うち基本財産への充当額)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)
(うち特定資産への充当額)	4,714,129,738	3,488,310,704	( 1,073,111,766)	( 0)
<b>正味財産合計</b>	<b>11,530,745,216</b>	<b>2,935,674,447</b>	<b>1,546,814,982</b>	<b>0</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>12,602,129,594</b>	<b>8,334,832,989</b>	<b>3,087,821,558</b>	<b>43,226,979</b>

(単位：円)

小計	その他会計			法人会計	内部取引消去
	マリンメッセ福岡A館 (他1)	マリンメッセ福岡B館 (他2)	小計		
273,133,674	285,450,833	139,059,486	424,510,319	17,945,664	0
160,770,346	416,989,007	145,191,878	562,180,885	170,044,219	△ 488,114,488
0	0	0	0	7,172	0
3,096,371	0	0	0	1,148,100	0
<b>437,000,391</b>	<b>702,439,840</b>	<b>284,251,364</b>	<b>986,691,204</b>	<b>189,145,155</b>	<b>△ 488,114,488</b>
0	0	0	0	200,000,000	0
<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>200,000,000</b>	<b>0</b>
300,000,000	0	0	0	0	0
44,919,610	22,459,805	22,459,838	44,919,643	824,277	0
477,900,659	48,649,339	0	48,649,339	4,057,929	0
0	0	0	0	100,000,000	0
4,083,521,811	0	0	0	0	0
<b>4,906,342,080</b>	<b>71,109,144</b>	<b>22,459,838</b>	<b>93,568,982</b>	<b>104,882,206</b>	<b>0</b>
4,787,726,409	0	0	0	0	0
982,679,429	13,915,322	0	13,915,322	7,448,528	0
65,241,226	8,923,284	0	8,923,284	0	0
3	1	0	1	0	0
187,849,730	2,386,300	0	2,386,300	0	0
84,411,386	6,740,833	0	6,740,833	4,562,605	0
0	0	0	0	2,715,768	0
6,889,942	3,382,368	0	3,382,368	0	0
7,740,930	0	0	0	0	0
0	0	0	0	6,067,992,697	△ 6,067,992,697
<b>6,122,539,055</b>	<b>35,348,108</b>	<b>0</b>	<b>35,348,108</b>	<b>6,082,719,598</b>	<b>△ 6,067,992,697</b>
<b>11,028,881,135</b>	<b>106,457,252</b>	<b>22,459,838</b>	<b>128,917,090</b>	<b>6,387,601,804</b>	<b>△ 6,067,992,697</b>
<b>11,465,881,526</b>	<b>808,897,092</b>	<b>306,711,202</b>	<b>1,115,608,294</b>	<b>6,576,746,959</b>	<b>△ 6,556,107,185</b>
345,962,045	243,601,903	77,786,271	321,388,174	187,997,055	△ 488,114,488
35,838,595	63,765,404	21,489,145	85,254,549	0	0
371,364,450	0	0	0	0	0
<b>753,165,090</b>	<b>307,367,307</b>	<b>99,275,416</b>	<b>406,642,723</b>	<b>187,997,055</b>	<b>△ 488,114,488</b>
116,314,700	0	0	0	0	0
0	0	0	0	2,715,768	0
44,919,610	22,459,805	22,459,838	44,919,643	824,277	0
1,000,000	1,000,000	0	1,000,000	0	0
6,067,992,697	0	0	0	0	△ 6,067,992,697
<b>6,230,227,007</b>	<b>23,459,805</b>	<b>22,459,838</b>	<b>45,919,643</b>	<b>3,540,045</b>	<b>△ 6,067,992,697</b>
<b>6,983,392,097</b>	<b>330,827,112</b>	<b>121,735,254</b>	<b>452,562,366</b>	<b>191,537,100</b>	<b>△ 6,556,107,185</b>
300,000,000	0	0	0	200,000,000	0
<b>300,000,000</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>200,000,000</b>	<b>0</b>
( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 200,000,000)	0
( 300,000,000)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	0
<b>4,182,489,429</b>	<b>478,069,980</b>	<b>184,975,948</b>	<b>663,045,928</b>	<b>6,185,209,859</b>	<b>0</b>
( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	0
( 4,561,422,470)	( 48,649,339)	( 0)	( 48,649,339)	( 104,057,929)	0
<b>4,482,489,429</b>	<b>478,069,980</b>	<b>184,975,948</b>	<b>663,045,928</b>	<b>6,385,209,859</b>	<b>0</b>
<b>11,465,881,526</b>	<b>808,897,092</b>	<b>306,711,202</b>	<b>1,115,608,294</b>	<b>6,576,746,959</b>	<b>△ 6,556,107,185</b>

### 3 正味財産増減計算書（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	1,916,000	1,916,000	0
基本財産受取利息	1,916,000	1,916,000	0
② 特定資産運用益	4,517,850	1,703,571	2,814,279
特定資産受取利息	4,517,850	1,703,571	2,814,279
③ コンベンション事業収益	1,740,519,658	390,478,323	1,350,041,335
施設使用料収益	1,646,208,280	350,583,098	1,295,625,182
受取負担金	94,311,378	39,895,225	54,416,153
④ レストラン等事業収益	24,701,196	10,208,700	14,492,496
レストラン収益	6,044,516	2,933,641	3,110,875
自動販売機収益	16,648,969	5,745,300	10,903,669
付帯設備設置料収益	2,007,711	1,529,759	477,952
⑤ 駐車場事業収益	85,687,660	23,350,660	62,337,000
駐車場事業収益	85,687,660	23,350,660	62,337,000
⑥ 受取補助金等	509,919,815	551,794,520	△ 41,874,705
受取福岡市補助金	509,919,815	551,794,520	△ 41,874,705
⑦ 雑収益	16,656,454	74,842,082	△ 58,185,628
受取利息	8,147	25,809	△ 17,662
還付消費税収益	0	35,007,175	△ 35,007,175
雑収益	16,648,307	39,809,098	△ 23,160,791
<b>経常収益計</b>	<b>2,383,918,633</b>	<b>1,054,293,856</b>	<b>1,329,624,777</b>
(2) 経常費用			
① コンベンション事業費	1,563,369,606	1,321,603,663	241,765,943
役員報酬	0	6,529,350	△ 6,529,350
給料手当	176,758,079	172,257,624	4,500,455
退職給付費用	13,422,236	9,983,746	3,438,490
福利厚生費	27,905,716	28,521,162	△ 615,446
会議費	25,991	0	25,991
旅費交通費	187,004	24,960	162,044
通信運搬費	5,051,177	6,570,401	△ 1,519,224
減価償却費	434,098,218	428,800,017	5,298,201
消耗什器備品費	3,609,365	1,213,740	2,395,625
消耗品費	11,961,737	7,226,299	4,735,438
修繕費	66,928,920	53,157,390	13,771,530
広告宣伝費	2,890,800	2,708,200	182,600
印刷製本費	1,548,046	1,017,911	530,135
燃料費	262,630	157,724	104,906
光熱水料費	154,405,655	95,785,943	58,619,712
賃借料	1,021,512	4,465,735	△ 3,444,223

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
保険料	3,096,371	2,320,163	776,208
租税公課	99,055,228	59,616,081	39,439,147
支払負担金	503,235	441,335	61,900
委託費	560,497,576	440,750,163	119,747,413
貸倒損失	23,490	8,599	14,891
雑費	116,620	47,120	69,500
<b>② レストラン等事業費</b>	<b>3,395,101</b>	<b>1,738,589</b>	<b>1,656,512</b>
消耗品費	232,540	0	232,540
光熱水料費	1,833,870	1,349,265	484,605
委託費	1,328,691	389,324	939,367
<b>③ 駐車場事業費</b>	<b>24,955,883</b>	<b>14,163,220</b>	<b>10,792,663</b>
通信運搬費	88,200	18,611	69,589
消耗品費	207,350	498,482	△ 291,132
印刷製本費	99,990	199,980	△ 99,990
光熱水料費	2,739,838	2,088,476	651,362
賃借料	213,840	198,000	15,840
委託費	21,594,438	11,157,276	10,437,162
雑費	12,227	2,395	9,832
<b>④ 管理費</b>	<b>85,832,137</b>	<b>115,075,529</b>	<b>△ 29,243,392</b>
役員報酬	12,058,150	14,730,050	△ 2,671,900
給料手当	30,129,015	40,042,857	△ 9,913,842
臨時雇賃金	183,000	155,841	27,159
福利厚生費	7,541,520	9,250,680	△ 1,709,160
被服費	79,948	0	79,948
交際費	344,389	50,294	294,095
会議費	156,430	123,180	33,250
旅費交通費	150,790	143,958	6,832
通信運搬費	1,807,489	2,056,697	△ 249,208
減価償却費	8,644,023	5,938,670	2,705,353
消耗什器備品費	373,230	549,120	△ 175,890
消耗品費	4,162,135	1,787,389	2,374,746
修繕費	0	807,070	△ 807,070
広告宣伝費	30,000	2,735,700	△ 2,705,700
印刷製本費	1,088,928	1,404,488	△ 315,560
燃料費	17,054	2,872	14,182
光熱水料費	0	1,537,022	△ 1,537,022
賃借料	1,323,920	1,302,140	21,780
保険料	567,580	615,420	△ 47,840
諸謝金	814,000	814,000	0
租税公課	1,094,192	1,182,900	△ 88,708
支払負担金	3,942,630	3,688,416	254,214

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
委託費	2,831,254	12,170,115	△ 9,338,861
支払利息	8,264,815	13,724,520	△ 5,459,705
雑費	227,645	262,130	△ 34,485
<b>⑤ 寄附金</b>	<b>43,226,979</b>	<b>0</b>	<b>43,226,979</b>
福岡市寄附金	43,226,979	0	43,226,979
<b>経常費用計</b>	<b>1,720,779,706</b>	<b>1,452,581,001</b>	<b>268,198,705</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>663,138,927</b>	<b>△ 398,287,145</b>	<b>1,061,426,072</b>
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
<b>経常外収益計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
(2) 経常外費用			
<b>① 除却損失</b>	<b>2,327,665</b>	<b>16,708,994</b>	<b>△ 14,381,329</b>
建物付属設備除却損	2,326,163	14,800,808	△ 12,474,645
構築物除却損	0	1,788,570	△ 1,788,570
車両運搬具除却損	1	0	1
器具及び備品除却損	1	80,616	△ 80,615
電話加入権除却損	1,500	39,000	△ 37,500
<b>経常外費用計</b>	<b>2,327,665</b>	<b>16,708,994</b>	<b>△ 14,381,329</b>
<b>当期経常外増減額</b>	<b>△ 2,327,665</b>	<b>△ 16,708,994</b>	<b>14,381,329</b>
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>660,811,262</b>	<b>△ 414,996,139</b>	<b>1,075,807,401</b>
一般正味財産期首残高	10,369,933,954	10,784,930,093	△ 414,996,139
<b>一般正味財産期末残高</b>	<b>11,030,745,216</b>	<b>10,369,933,954</b>	<b>660,811,262</b>
II 指定正味財産増減の部			
<b>当期指定正味財産増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
指定正味財産期首残高	500,000,000	500,000,000	0
<b>指定正味財産期末残高</b>	<b>500,000,000</b>	<b>500,000,000</b>	<b>0</b>
III 正味財産期末残高	<b>11,530,745,216</b>	<b>10,869,933,954</b>	<b>660,811,262</b>



【参考】正味財産増減計算書内訳表（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）

科 目	合 計	実施事業等会計		
		福岡国際会議場(継2)	福岡国際センター(継1)	特定寄附
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
<b>1. 経常増減の部</b>				
<b>(1) 経常収益</b>				
① 基本財産運用益	1,916,000	0	0	0
② 特定資産運用益	4,517,850	2,904,947	1,608,903	0
③ コンベンション事業収益	1,740,519,658	296,964,816	190,989,562	0
④ レストラン等事業収益	24,701,196	9,071,275	3,628,708	0
⑤ 駐車場事業収益	85,687,660	2,152,740	622,960	0
⑥ 受取補助金等	509,919,815	0	0	0
⑦ 雑収益	16,656,454	1,794,110	66,578	0
⑧ 引当金取崩額	0	0	5,915,808	0
<b>経常収益計</b>	<b>2,383,918,633</b>	<b>312,887,888</b>	<b>202,832,519</b>	<b>0</b>
<b>(2) 経常費用</b>				
① コンベンション事業費	1,563,369,606	708,074,988	346,623,134	0
② レストラン等事業費	3,395,101	2,645,030	0	0
③ 駐車場事業費	24,955,883	0	0	0
④ 管理費	85,832,137	0	0	0
⑤ 寄附金	43,226,979	0	0	43,226,979
<b>経常費用計</b>	<b>1,720,779,706</b>	<b>710,720,018</b>	<b>346,623,134</b>	<b>43,226,979</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>663,138,927</b>	<b>△ 397,832,130</b>	<b>△ 143,790,615</b>	<b>△ 43,226,979</b>
<b>2. 経常外増減の部</b>				
<b>(1) 経常外収益</b>				
<b>経常外収益計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>(2) 経常外費用</b>				
① 除却損失	2,327,665	2,327,663	0	0
<b>経常外費用計</b>	<b>2,327,665</b>	<b>2,327,663</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>当期経常外増減額</b>	<b>△ 2,327,665</b>	<b>△ 2,327,663</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
他会計振替額	0	441,202,769	△ 4,507,771	43,226,979
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>660,811,262</b>	<b>41,042,976</b>	<b>△ 148,298,386</b>	<b>0</b>
一般正味財産期首残高	10,369,933,954	2,894,631,471	1,395,113,368	0
<b>一般正味財産期末残高</b>	<b>11,030,745,216</b>	<b>2,935,674,447</b>	<b>1,246,814,982</b>	<b>0</b>
<b>II 指定正味財産増減の部</b>				
<b>当期指定正味財産増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
指定正味財産期首残高	500,000,000	0	300,000,000	0
<b>指定正味財産期末残高</b>	<b>500,000,000</b>	<b>0</b>	<b>300,000,000</b>	<b>0</b>
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>11,530,745,216</b>	<b>2,935,674,447</b>	<b>1,546,814,982</b>	<b>0</b>

(単位：円)

小 計	その他会計		小 計	法人会計	内部取引消去
	マリンメッセ福岡A館(他1)	マリンメッセ福岡B館(他2)			
0	0	0	0	1,916,000	
4,513,850	4,000	0	4,000	0	
487,954,378	890,438,902	362,126,378	1,252,565,280	0	
12,699,983	10,750,209	1,251,004	12,001,213	0	
2,775,700	77,337,660	5,574,300	82,911,960	0	
0	0	0	0	509,919,815	
1,860,688	8,411,337	518	8,411,855	9,248,927	△ 2,865,016
5,915,808	6,634,014	0	6,634,014	1,452,195	△ 14,002,017
<b>515,720,407</b>	<b>993,576,122</b>	<b>368,952,200</b>	<b>1,362,528,322</b>	<b>522,536,937</b>	<b>△ 16,867,033</b>
1,054,698,122	359,064,018	166,474,499	525,538,517	0	△ 16,867,033
2,645,030	750,071	0	750,071	0	
0	23,033,688	1,922,195	24,955,883	0	
0	0	0	0	85,832,137	
43,226,979	0	0	0	0	
<b>1,100,570,131</b>	<b>382,847,777</b>	<b>168,396,694</b>	<b>551,244,471</b>	<b>85,832,137</b>	<b>△ 16,867,033</b>
<b>△ 584,849,724</b>	<b>610,728,345</b>	<b>200,555,506</b>	<b>811,283,851</b>	<b>436,704,800</b>	<b>0</b>
<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
2,327,663	1	0	1	1	0
<b>2,327,663</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>0</b>
<b>△ 2,327,663</b>	<b>△ 1</b>	<b>0</b>	<b>△ 1</b>	<b>△ 1</b>	<b>0</b>
479,921,977	△ 626,660,652	△ 15,579,558	△ 642,240,210	162,318,233	0
<b>△ 107,255,410</b>	<b>△ 15,932,308</b>	<b>184,975,948</b>	<b>169,043,640</b>	<b>599,023,032</b>	<b>0</b>
4,289,744,839	494,002,288	0	494,002,288	5,586,186,827	0
<b>4,182,489,429</b>	<b>478,069,980</b>	<b>184,975,948</b>	<b>663,045,928</b>	<b>6,185,209,859</b>	<b>0</b>
<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
300,000,000	0	0	0	200,000,000	0
<b>300,000,000</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>200,000,000</b>	<b>0</b>
<b>4,482,489,429</b>	<b>478,069,980</b>	<b>184,975,948</b>	<b>663,045,928</b>	<b>6,385,209,859</b>	<b>0</b>

## 4 財務諸表に対する注記

### (1) 重要な会計方針

- ① 有価証券の評価基準及び評価方法  
満期保有目的の有価証券については、償却原価法（定額法）を採用している。
- ② 固定資産の減価償却の方法
  - ア 有形固定資産及び無形固定資産（リース資産を除く。）  
定額法を採用している。
  - イ リース資産  
所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産  
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用している。
- ③ 引当金の計上基準  
退職給付引当金については、期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。
- ④ 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理については、税込方式によっている。

### (2) 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	200,000,000	0	0	200,000,000
小 計	200,000,000	0	0	200,000,000
特定資産				
運用基金	300,000,000	0	0	300,000,000
退職給付引当資産	95,853,785	27,424,253	32,614,508	90,663,530
減価償却引当資産	540,853,865	0	10,245,938	530,607,927
経営調整積立資産	0	100,000,000	0	100,000,000
修繕等積立資産	3,864,544,161	390,000,000	171,022,350	4,083,521,811
小 計	4,801,251,811	517,424,253	213,882,796	5,104,793,268
合 計	5,001,251,811	517,424,253	213,882,796	5,304,793,268

### (3) 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
基本財産引当資産	200,000,000	(200,000,000)	-	-
小 計	200,000,000	(200,000,000)	-	-
特定資産				
運用基金	300,000,000	(300,000,000)	-	-
退職給付引当資産	90,663,530	-	-	(90,663,530)
減価償却引当資産	530,607,927	-	(530,607,927)	-
経営調整積立資産	100,000,000	-	(100,000,000)	-
修繕等積立資産	4,083,521,811	-	(4,083,521,811)	-
小 計	5,104,793,268	(300,000,000)	(4,714,129,738)	(90,663,530)
合 計	5,304,793,268	(500,000,000)	(4,714,129,738)	(90,663,530)

(4) 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他の固定資産			
建物	9,447,234,232	4,659,507,823	4,787,726,409
建物附属設備	5,309,998,236	4,305,954,957	1,004,043,279
構築物	550,905,961	476,741,451	74,164,510
車両運搬具	7,756,070	7,756,066	4
機械及び装置	545,548,314	355,312,284	190,236,030
器具及び備品	695,737,179	600,022,355	95,714,824
ソフトウェア	49,139,906	38,867,596	10,272,310
リース資産	27,157,680	24,441,912	2,715,768
合 計	16,633,477,578	10,468,604,444	6,164,873,134

(5) 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益	参 考			
				額 面	利 率(%)	受取利息	期間(年)
F304回地方金融機構債 (平成27年10月発行)	200,000,000	212,480,000	12,480,000	200,000,000	0.958	1,916,000	18
合 計	200,000,000	212,480,000	12,480,000	200,000,000		1,916,000	

(6) 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交 付 者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
福岡国際会議場整備事業補助金	福岡市	0	379,402,631	379,402,631	0	-
福岡国際センター事業補助金	福岡市	0	130,517,184	130,517,184	0	-
合 計		0	509,919,815	509,919,815	0	

## 5 附属明細書

(1) 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区 分	資産の種類	期首帳簿価格	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	投資有価証券	200,000,000	0	0	200,000,000
	基本財産計	200,000,000	0	0	200,000,000
特定資産	運用基金	300,000,000	0	0	300,000,000
	退職給付引当資産	95,853,785	27,424,253	32,614,508	90,663,530
	減価償却引当資産	540,853,865	0	10,245,938	530,607,927
	経営調整積立資産	0	100,000,000	0	100,000,000
	修繕等積立資産	3,864,544,161	390,000,000	171,022,350	4,083,521,811
小 計	特定資産計	4,801,251,811	517,424,253	213,882,796	5,104,793,268

- ・ 経営調整積立資産の当期増加額は、次年度以降の社会経済情勢の変化や突発的な事故等に対応するため積み立てたものである。
- ・ 修繕等積立資産の当期増加額は、次年度以降の修繕等に対応するため積み立てたものであり、当期減少額は、当年度の修繕等の財源として取り崩したものである。

(2) 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	95,853,785	27,424,253	18,612,491	14,002,017	90,663,530

- ・ 当期減少額のうちその他については、マリンメッセ福岡B館会計へ新たに引き当てたことにより、他の会計の引当必要額が減少したものである。

## 6 財産目録（令和4年3月31日現在）

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	小口現金	手元保管	少額支払資金	57,472	
	現金	手元保管	釣銭用資金及び駐車料金等	1,938,600	
	普通預金	福岡銀行本店	運転資金として	612,274,611	
		福岡銀行博多支店		31,408,791	
		西日本シティ銀行本店		4,752,384	
		西日本シティ銀行博多支店		35,032,467	
		三井住友銀行福岡支店		30,036,653	
		三菱UFJ銀行福岡中央支店		88,679	
		小計		715,589,657	
	未収金	福岡国際会議場、マリメッセ福岡A館、マリメッセ福岡B館、福岡国際センター及び法人	施設利用に係る使用料収入等	404,880,962	
前払金	法人	ICカード（nimoca）残額	7,172		
前払費用	福岡国際会議場、福岡国際センター及び法人	火災保険料及び施設賠償保険料	4,244,471		
流動資産合計				1,124,722,262	
(固定資産)	基本財産	投資有価証券	F304回地方金融機構債（平成27年10月発行）	財団の基本財産として	200,000,000
	特定資産	運用基金	金銭信託 三井住友信託銀行福岡支店	福岡国際センターの管理運営に係る有形固定資産の取得及び修繕費用に当てるため受け入れた資産	300,000,000
		退職給付引当資産	普通預金 福岡銀行博多支店	退職給付引当金の引当に備え積み立てた資産	90,663,530
		減価償却引当資産	普通預金 福岡銀行博多支店	器具及び備品、ソフトウェアの更新のために積み立てた資産	80,607,927
			定期預金 三井住友信託銀行福岡支店		50,000,000
			金銭信託 三井住友信託銀行福岡支店		400,000,000
	小計			530,607,927	
	経営調整積立資産	普通預金 福岡銀行博多支店	損害賠償金の支払いなど財団運営上必要と認められる費用に充てるため積み立てた資産	100,000,000	
	修繕等積立資産	普通預金 福岡銀行博多支店	財団施設の修繕、改良及び更新のために積み立てた資産	633,521,811	
		定期預金 西日本シティ銀行本店		400,000,000	
		定期預金 三菱UFJ信託銀行福岡支店		300,000,000	
		定期預金 三井住友信託銀行福岡支店		550,000,000	
		金銭信託 三井住友信託銀行福岡支店		1,500,000,000	
金銭信託 三菱UFJ信託銀行福岡支店			700,000,000		
小計			4,083,521,811		

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
その他 固定資産	建物	博多区築港本町2-2	福岡国際センター	1,155,250,123
		博多区石城町2-1	福岡国際会議場	3,632,476,286
			小計	4,787,726,409
	建物附属設備	福岡国際会議場、マリメッセ福岡A館、福岡国際センター及び法人	電気設備、空調設備、給排水設備、エレベーター設備等	1,004,043,279
	構築物	福岡国際会議場、マリメッセ福岡A館及び福岡国際センター	コンベンションゾーン暫定通路、外構、緑道等	74,164,510
	車両運搬具	福岡国際会議場及びマリメッセ福岡A館	けん引車輛、フォークリフト、高所作業車等	4
	機械及び装置	福岡国際会議場、マリメッセ福岡A館及び福岡国際センター	舞台せり上げ装置、吊物装置等	190,236,030
	器具及び備品	福岡国際会議場、マリメッセ福岡A館、福岡国際センター及び法人	大型映像装置、舞台照明器具、プロジェクター等	95,714,824
	リース資産	法人	パーソナルコンピュータ、公益法人会計システム	2,715,768
	ソフトウェア	福岡国際会議場、マリメッセ福岡A館及び福岡国際センター	施設予約管理システム等	10,272,310
長期前払費用	福岡国際会議場及び福岡国際センター	施設火災保険料	7,740,930	
固定資産合計				11,477,407,332
資産合計				12,602,129,594
(流動負債)	未払金	3月分電気料金、設備保守委託料、令和3年度事業所税等	施設の管理運営に係る令和3年度分支払等	367,232,786
	前受金	福岡国際会議場、マリメッセ福岡A館、マリメッセ福岡B館及び福岡国際センター	令和4年度施設使用料収入(予約金)等	121,093,144
	一年以内返済予定長期借入金	日本政策投資銀行	国際会議場の建設費等及び福岡国際センターの改修費に係る借入金のうち、令和4年度返済予定元金分	80,000,000
		福岡銀行 西日本シティ銀行		144,414,450
			小計	371,364,450
流動負債合計				859,690,380
(固定負債)	長期借入金	福岡銀行	福岡国際センターの改修費に係る借入金	57,114,700
		西日本シティ銀行		59,200,000
			小計	116,314,700
	リース債務	法人	パーソナルコンピュータ、公益法人会計システム	2,715,768
	退職給付引当金	財団職員に対するもの	財団職員に対する退職金の支払いに備えたもの	90,663,530
受入保証金	福岡国際会議場、マリメッセ福岡A館	施設のレストラン運営委託に係る保証金	2,000,000	
固定負債合計				211,693,998
負債合計				1,071,384,378
正味財産				11,530,745,216

## 7 収支計算書（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	当初予算額	最終予算額	決 算 額	差 異
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
<b>1. 経常増減の部</b>				
<b>(1) 経常収益</b>				
① 基本財産運用益	1,916,000	1,916,000	1,916,000	0
② 特定資産運用益	1,350,000	4,450,000	4,517,850	△ 67,850
③ コンベンション事業収益	1,793,381,000	1,735,981,000	1,740,519,658	△ 4,538,658
④ レストラン等事業収益	60,370,000	24,390,000	24,701,196	△ 311,196
⑤ 駐車場事業収益	137,898,000	71,598,000	85,687,660	△ 14,089,660
⑥ 受取補助金等	509,920,000	509,920,000	509,919,815	185
⑦ 雑収益	149,000	16,049,000	16,656,454	△ 607,454
⑧ 引当金取崩額	5,328,000	0	0	0
<b>経常収益計</b>	<b>2,510,312,000</b>	<b>2,364,304,000</b>	<b>2,383,918,633</b>	<b>△ 19,614,633</b>
<b>(2) 経常費用</b>				
① コンベンション事業費	1,908,826,000	1,633,248,000	1,563,369,606	69,878,394
② レストラン等事業費	7,959,000	4,959,000	3,395,101	1,563,899
③ 駐車場事業費	39,894,000	30,294,000	24,955,883	5,338,117
④ 管理費	101,553,000	95,753,000	85,832,137	9,920,863
⑤ 寄附金	170,000,000	44,000,000	43,226,979	773,021
<b>経常費用計</b>	<b>2,228,232,000</b>	<b>1,808,254,000</b>	<b>1,720,779,706</b>	<b>87,474,294</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>282,080,000</b>	<b>556,050,000</b>	<b>663,138,927</b>	<b>△ 107,088,927</b>
<b>2. 経常外増減の部</b>				
<b>(1) 経常外収益</b>				
<b>経常外収益計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>(2) 経常外費用</b>				
① 除却損失	5,827,000	2,331,000	2,327,665	3,335
<b>経常外費用計</b>	<b>5,827,000</b>	<b>2,331,000</b>	<b>2,327,665</b>	<b>3,335</b>
<b>当期経常外増減額</b>	<b>△ 5,827,000</b>	<b>△ 2,331,000</b>	<b>△ 2,327,665</b>	<b>△ 3,335</b>
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>276,253,000</b>	<b>553,719,000</b>	<b>660,811,262</b>	<b>△ 107,092,262</b>
一般正味財産期首残高	10,331,007,000	10,369,934,000	10,369,933,954	46
<b>一般正味財産期末残高</b>	<b>10,607,260,000</b>	<b>10,923,653,000</b>	<b>11,030,745,216</b>	<b>△ 107,092,216</b>
<b>II 指定正味財産増減の部</b>				
<b>当期指定正味財産増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
指定正味財産期首残高	500,000,000	500,000,000	500,000,000	0
<b>指定正味財産期末残高</b>	<b>500,000,000</b>	<b>500,000,000</b>	<b>500,000,000</b>	<b>0</b>
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>11,107,260,000</b>	<b>11,423,653,000</b>	<b>11,530,745,216</b>	<b>△ 107,092,216</b>

## 8 契約金額が3億円以上の工事又は製造の請負の契約

該当なし

## 9 契約金額が4,000万円以上の不動産等の買入れ等の契約

該当なし

## 第3章 令和4年度事業計画

### 1 事業計画

#### (1) 概要

一般財団法人福岡コンベンションセンター（以下「財団」という。）は、福岡国際会議場、マリンメッセ福岡A館及びB館、福岡国際センターを管理・運営する法人として、福岡市及び公益財団法人福岡観光コンベンションビューロー（以下「コンベンションビューロー」という。）と連携して、長年にわたり、様々な国際会議や大規模な学術会議、展示会、世界的なスポーツ大会等のMICEの誘致・開催支援を行ってきた。

第4期指定管理者（令和元年度～令和5年度）として、①福岡市のMICE戦略への貢献、②マーケティング戦略に基づくMICE競争力の向上、③安全安心でユニバーサルな施設の提供、④事業の持続性の確保と財政負担の軽減・平準化、⑤法令遵守と公平・公正性を確保した管理運営の5つの方針に基づき、利用率及び顧客満足度のさらなる向上に向けて、財団が有するMICE誘致・運営のノウハウ等を活かし、適正かつ効果的、効率的な管理運営に取り組む。

また、福岡市が重点分野として位置付けるMICEの誘致により、福岡市の産業や地域観光の振興、市民文化の発展に貢献していく。

令和5年度へ再度延期となった第19回FINA世界水泳選手権2022福岡大会（以下「世界水泳」という。）の影響により、令和4年度の施設利用予定は大きく変更となるため、複数施設の相互利用を活用した新たな提案や福岡市やコンベンションビューローと連携した新規利用者誘致及び過去利用者へのマーケティング営業を推進し、下半期の施設の利用促進に努める。

新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ」という。）による催事開催への影響は今後も続くものと思われるが、施設の万全な新型コロナウイルス感染症対策（以下「感染症対策」という。）による安全・安心な施設環境の提供により、利用率の回復を図る。

#### (2) MICEの戦略的な誘致・営業

##### ① 国際会議・学術会議の誘致

国際会議・学術会議の誘致は、MICE戦略上重要な取り組みであり、福岡市及びコンベンションビューローと共同運営するMeeting Place Fukuoka（以下「MPF」という。）との連携を一層強化し、中長期の視点に立ったマーケティング、ターゲットの選定、共同でのプロモーションなどを効果的に展開する。また、これまでに構築してきた大学、関係機関等とのネットワークやMPFのネットワーク、福岡市MICEアンバサダー制度等を活用していく。

コロナの感染状況を考慮し、オンライン面談やメール・電話による着実なフォローアップを行うとともに、国際MICEエキスポなどのオンライン商談会を積極的に活用して、情報収集に努める。

ハイブリッド開催の提案や施設の万全な感染症対策を強みとして、昨今の時代の潮流に即した誘致活動を行っていく。

さらに、新規案件獲得を含めた営業強化を目的とした組織改革を実施し、ターゲット先の抽出・調査及びリストアップを綿密に行い、効果的な誘致活動を目指す。

## ② 新規・重点分野の催事の誘致・営業

オンラインを活用した誘致・営業を行う。福岡市のMICE戦略や市場性に合った誘致重点分野(新産業/クリエイティブ/食/医療・医学/スポーツ/アジア)や学術文化振興に資する催事については、福岡市、MPFと密に情報交換を行いながら、地場産業振興への寄与も期待される催事をターゲットにして、優先的な誘致・営業に取り組む。

また、令和4年度から開始する福岡市の見本市等開催助成金を含め、助成金を活用した提案を積極的に実施していく。

さらに、当財団の強みである感染症対策をPRすることで、安全・安心な施設イメージを確立し、新規催事の獲得を行う。

## ③ リピーターの流出防止・定着化

これまでに当財団が管理する施設の利用実績があるリピーターについては、毎年同時期に利用している主催者が多いため、1~2年先を見越した日程調整を確実に行い、引き続き利用していただけるよう、積極的に日程提示を行っていく。

世界水泳の開催が令和4年5月から令和5年7月へ再延期となり、その利用期間が令和5年4月から同年9月までに変更となったため、当該期間にマリンメッセ福岡A館・B館を利用する予定であった54件の催事に影響が及んでいる。

当該催事的主催者に対しては、別日程の提示や福岡国際センター及び他施設への斡旋を含めた代替え提案など、きめ細かな対応を行い、令和6年度以降のコンベンション施設の利用にもつなげるとともに、顧客の流出防止に努めていく。

## ④ 国際会議場の中小会議室の利用促進

中小会議室の利用者が会場を決定する際に必要な会議室の空き情報や利用料金等の情報について、現ホームページの構成やアクセス方法の見直しを行い、アクセシビリティを高めることで、利用促進を目指す。

また、メインホール・多目的ホール・国際会議室の利用者に対して、中小会議室を併用した催事開催方法の提案を行い、同時利用につなげるなど効果的な営業活動を行う。

令和3年度に引き続き、助成金制度の案内や感染症対策等、利用者にとって有益な情報をホームページやDMで随時発信し、財団施設を利用するメリットのPRや、コロナ禍における利用者の不安を除去することにより、利用促進及びキャンセル防止に努める。

## ⑤ 複数施設相互利用への取り組み

マリンメッセ福岡B館が供用開始したことにより、既存施設を含め催事規模に応じた施設の提供が可能となったことから、効率的なスペースマネジメントを行い、機会損失の解消に努めるとともに、マリンメッセ福岡A館・B館の相互利用による既存催事の拡大化や大型展示会の誘致を行う。

同時に、相互利用の際に生じる問題点や利用者からの要望への対応を蓄積・応用することにより、利便性の向上に努め、さらなる利用促進につなげる。

## (3) 運営サービスの向上

### ① 催事運営のサポート

利用者の立場に立ち、各催事の目的の達成に向けて、催事内容や利用施設の特性などを踏まえながら、最適なサービスの提供を行い、顧客満足度の向上を図る。

複数施設を利用する催事におけるワンストップサービス(窓口の一元化)及び複数に分かれていた請求書の一本化により、書類の簡素化や利用者の負担軽減を

図り、運営サービスの向上に努める。

多くの来場者が見込まれる大規模催事の開催時には、来場者の案内・誘導、車両の交通整理などについて、専門知識を有するスタッフが施設間の連携をとりつつ、組織的かつきめ細かなサポートを行う。

## ② With コロナの催事運営

感染症対策として、検温、手指の消毒、マスクの着用をはじめ、人と人との間隔の確保、十分な換気、不特定多数の人が触れる部分の消毒等の感染予防対策を徹底するとともに、国及び福岡県の指針に基づいた施設利用ガイドラインを随時改定し、利用者が安全に催事を開催できる環境整備を図っていく。

また、抗ウイルスコーティングやエスカレーターの手すり用除菌装置、オゾン除菌機等の導入・拡充により、安全・安心な施設環境を提供するとともに、消毒費用の利用者負担軽減にもつなげている。今後も、コロナ禍においても選ばれる施設を目指して、万全な運営を行っていく。

## (4) 施設の維持管理

経年に伴う老朽化に適切に対応して、施設の維持管理と安全性の確保を図るとともに、利用者に快適で利便性の高い施設を提供できるよう、各施設の保守管理、改修等を行う。

保守管理は、施設・機器等について専門の委託業者等による日常・定期点検の的確な履行、実施内容の確認を徹底し、予防保全に努める。

改修等については、長期保全計画に基づき設備機器の更新や施設環境の改善を計画的に実施する。

また、令和5年度及び令和6年度に計画している福岡国際会議場の大規模改修については、令和4年度に実施設計を行う。

## (5) 安全対策・危機管理対策

日頃から、施設設備の点検や催事の主催者等へ施設利用方法の指導を徹底するなど、安全対策に努める。

自然災害や催事上の事故をはじめ、防火・防災その他の危機事案の発生時には、防災センターや主催者・関係者と十分な連携を図り、迅速、的確かつ組織的な対応を行う。

近年、危機事案が多様化していることを踏まえ、必要に応じて危機管理対応マニュアルなどを適宜更新するとともに、財団職員、防災センター職員等のほか、主な利用者の参加を得て、研修・訓練を実施する。

防災管理者等の資格取得や救急救命講習の受講などにより、職員等の防災知識・技術の向上に努める。

## (6) 新たな取組み

### ① 広告事業の検討・実施

新たな財源の確保を目的として、施設の共用スペース（ロビー、壁面等）に有料広告を掲載することについて、市場性や収益見込みを分析すると同時に、広告媒体の設置及び活用を開始する。

### ② 自主企画事業の実施

地域経済の活性化及びコンベンションゾーンの一体感と賑わい創出、施設利用率の向上を目的として、福岡市のMICE施策における重点分野であってコンベ

ンションゾーンの価値向上に資するものについて、自主企画事業としての実施を検討する。

**③ 市内文化施設との連携強化**

コンベンションゾーンから博多駅までの帰路を楽しめる「博多旧市街」などのプロモーションスペースを施設ロビーに設置し、来場者に向けて、会議終了後に利用できるオリジナルの福岡市内観光コースの策定を検討する。

**④ ユニバーサルデザインへの対応**

施設内外のピクトサイン・案内表示の充実、ホームページのウェブアクセシビリティ向上など、外国人・障がい者・高齢者など、あらゆる人々にとって、分かりやすく利用しやすいユニバーサルデザインの施設を目指して取り組む。

## 2 収支予算書（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

（単位：千円）

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
（1）経常収益			
① 基本財産運用益	1,916	1,916	0
基本財産受取利息	1,916	1,916	0
② 特定資産運用益	4,511	1,350	3,161
特定資産受取利息	4,511	1,350	3,161
③ コンベンション事業収益	1,546,736	1,793,381	△ 246,645
施設使用料収益	1,425,774	1,640,818	△ 215,044
受取負担金	120,962	152,563	△ 31,601
④ レストラン等事業収益	66,090	60,370	5,720
レストラン収益	22,444	19,400	3,044
自動販売機収益	36,291	37,147	△ 856
付帯設備設置料収益	7,355	3,823	3,532
⑤ 駐車場事業収益	150,791	137,898	12,893
駐車場事業収益	150,791	137,898	12,893
⑥ 受取補助金等	374,727	509,920	△ 135,193
受取福岡市補助金	374,727	509,920	△ 135,193
⑦ 雑収益	114	149	△ 35
受取利息	6	29	△ 23
雑収益	108	120	△ 12
⑧引当金取崩額	0	5,328	△ 5,328
退職給付引当金取崩額	0	5,328	△ 5,328
<b>経常収益計</b>	<b>2,144,885</b>	<b>2,510,312</b>	<b>△ 365,427</b>
（2）経常費用			
① コンベンション事業費	1,988,993	1,908,826	80,167
役員報酬	0	7,124	△ 7,124
給料手当	199,032	181,800	17,232
退職給付費用	12,360	0	12,360
福利厚生費	31,352	30,356	996
会議費	147	147	0
旅費交通費	3,159	3,183	△ 24
通信運搬費	5,947	6,497	△ 550
減価償却費	430,671	443,900	△ 13,229
消耗什器備品費	9,993	4,763	5,230
消耗品費	94,788	15,259	79,529

(単位：千円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
修繕費	128,149	104,224	23,925
広告宣伝費	4,280	5,245	△ 965
印刷製本費	3,332	4,094	△ 762
燃料費	706	510	196
光熱水料費	210,719	239,197	△ 28,478
賃借料	2,306	1,425	881
保険料	3,097	3,097	0
租税公課	88,530	100,013	△ 11,483
支払負担金	1,465	2,567	△ 1,102
委託費	758,815	755,230	3,585
貸倒損失	0	50	△ 50
雑費	145	145	0
<b>② レストラン等事業費</b>	<b>7,523</b>	<b>7,959</b>	<b>△ 436</b>
修繕費	950	950	0
光熱水料費	5,456	5,934	△ 478
委託費	1,117	1,075	42
<b>③ 駐車場事業費</b>	<b>34,201</b>	<b>39,894</b>	<b>△ 5,693</b>
通信運搬費	89	90	△ 1
消耗品費	229	244	△ 15
修繕費	732	732	0
印刷製本費	204	204	0
光熱水料費	6,238	6,065	173
賃借料	215	215	0
委託費	26,394	32,244	△ 5,850
雑費	100	100	0
<b>④ 管理費</b>	<b>95,052</b>	<b>101,553</b>	<b>△ 6,501</b>
役員報酬	13,118	14,983	△ 1,865
給料手当	30,868	31,639	△ 771
退職給付費用	247	0	247
福利厚生費	7,782	8,223	△ 441
被服費	67	80	△ 13
交際費	1,620	1,345	275
会議費	300	300	0
旅費交通費	1,100	1,643	△ 543
通信運搬費	2,041	2,281	△ 240
減価償却費	7,240	8,604	△ 1,364
消耗什器備品費	227	100	127

(単位：千円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
消耗品費	2,211	2,506	△ 295
修繕費	200	200	0
印刷製本費	1,287	1,287	0
燃料費	15	15	0
賃借料	1,336	1,339	△ 3
保険料	1,519	740	779
諸謝金	1,920	1,732	188
租税公課	1,486	1,353	133
支払負担金	11,270	11,524	△ 254
委託費	5,386	2,943	2,443
支払利息	3,362	8,265	△ 4,903
雑費	450	451	△ 1
<b>⑤ 寄附金</b>	<b>170,000</b>	<b>170,000</b>	<b>0</b>
福岡市寄附金	170,000	170,000	0
<b>経常費用計</b>	<b>2,295,769</b>	<b>2,228,232</b>	<b>67,537</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 150,884</b>	<b>282,080</b>	<b>△ 432,964</b>
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
<b>経常外収益計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
(2) 経常外費用			
<b>① 除却損失</b>	<b>26,882</b>	<b>5,827</b>	<b>21,055</b>
建物附属設備除却損	11,891	3,827	8,064
器具及び備品除却損	2,001	2,000	1
ソフトウェア除却損	10,274	0	10,274
リース資産除却損	2,716	0	2,716
<b>経常外費用計</b>	<b>26,882</b>	<b>5,827</b>	<b>21,055</b>
<b>当期経常外増減額</b>	<b>△ 26,882</b>	<b>△ 5,827</b>	<b>△ 21,055</b>
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>△ 177,766</b>	<b>276,253</b>	<b>△ 454,019</b>
一般正味財産期首残高	10,923,653	10,331,007	592,646
一般正味財産期末残高	10,745,887	10,607,260	138,627
II 指定正味財産増減の部			
<b>当期指定正味財産増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
指定正味財産期首残高	500,000	500,000	0
指定正味財産期末残高	500,000	500,000	0
III 正味財産期末残高	11,245,887	11,107,260	138,627

【参考】収支予算書内訳表（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

科目	予算合計	実施事業等会計			小計
		福岡国際会議場	福岡国際センター	特定寄附	
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 基本財産運用益	1,916	0	0	0	0
② 特定資産運用益	4,511	2,894	1,613	0	4,507
③ コンベンション事業収益	1,546,736	425,821	296,495	0	722,316
④ レストラン等事業収益	66,090	28,479	10,227	0	38,706
⑤ 駐車場事業収益	150,791	6,720	1,491	0	8,211
⑥ 受取補助金等	374,727	0	0	0	0
⑦ 雑収益	114	21,639	0	0	21,639
⑧引当金取崩額	0	0	0	0	0
<b>経常収益計</b>	<b>2,144,885</b>	<b>485,553</b>	<b>309,826</b>	<b>0</b>	<b>795,379</b>
(2) 経常費用					
① コンベンション事業費	1,988,993	846,137	444,183	0	1,290,320
② レストラン等事業費	7,523	5,920	0	0	5,920
③ 駐車場事業費	34,201	0	0	0	0
④ 管理費	95,052	0	0	0	0
⑤ 寄附金	170,000	0	0	170,000	170,000
<b>経常費用計</b>	<b>2,295,769</b>	<b>852,057</b>	<b>444,183</b>	<b>170,000</b>	<b>1,466,240</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 150,884</b>	<b>△ 366,504</b>	<b>△ 134,357</b>	<b>△ 170,000</b>	<b>△ 670,861</b>
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
<b>経常外収益計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
(2) 経常外費用					
① 除却損失	26,882	11,200	8,583	0	19,783
<b>経常外費用計</b>	<b>26,882</b>	<b>11,200</b>	<b>8,583</b>	<b>0</b>	<b>19,783</b>
<b>当期経常外増減額</b>	<b>△ 26,882</b>	<b>△ 11,200</b>	<b>△ 8,583</b>	<b>0</b>	<b>△ 19,783</b>
他会計振替額	0	5,547,150	△ 48,568	170,000	5,668,582
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>△ 177,766</b>	<b>5,169,446</b>	<b>△ 191,508</b>	<b>0</b>	<b>4,977,938</b>
一般正味財産期首残高	10,923,653	2,935,910	1,241,781	0	4,177,691
一般正味財産期末残高	10,745,887	8,105,356	1,050,273	0	9,155,629
II 指定正味財産増減の部					
<b>当期指定正味財産増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
指定正味財産期首残高	500,000	0	300,000	0	300,000
指定正味財産期末残高	500,000	0	300,000	0	300,000
III 正味財産期末残高	11,245,887	8,105,356	1,350,273	0	9,455,629

(単位：千円)

その他会計		小計	法人会計	内部取引消去
マリンメッセ福岡A館	マリンメッセ福岡B館			
0	0	0	1,916	0
4	0	4	0	0
617,205	207,215	824,420	0	0
20,230	7,154	27,384	0	0
138,790	3,790	142,580	0	0
0	0	0	374,727	0
4	0	4	2,885	△ 24,414
0	0	0	0	0
<b>776,233</b>	<b>218,159</b>	<b>994,392</b>	<b>379,528</b>	<b>△ 24,414</b>
563,718	159,369	723,087	0	△ 24,414
1,603	0	1,603	0	0
31,699	2,502	34,201	0	0
0	0	0	95,052	0
0	0	0	0	0
<b>597,020</b>	<b>161,871</b>	<b>758,891</b>	<b>95,052</b>	<b>△ 24,414</b>
<b>179,213</b>	<b>56,288</b>	<b>235,501</b>	<b>284,476</b>	<b>0</b>
<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
3,883	0	3,883	3,216	0
<b>3,883</b>	<b>0</b>	<b>3,883</b>	<b>3,216</b>	<b>0</b>
<b>△ 3,883</b>	<b>0</b>	<b>△ 3,883</b>	<b>△ 3,216</b>	<b>0</b>
△ 491,798	△ 205,338	△ 697,136	△ 4,971,446	0
<b>△ 316,468</b>	<b>△ 149,050</b>	<b>△ 465,518</b>	<b>△ 4,690,186</b>	<b>0</b>
399,883	160,660	560,543	6,185,419	0
83,415	11,610	95,025	1,495,233	0
<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
0	0	0	200,000	0
0	0	0	200,000	0
83,415	11,610	95,025	1,695,233	0